



宮中献穀お田植祭 平成29年6月25日 加津佐町津波見地区

主な内容

- 平成29年度一般会計補正予算の概要 P2
- 平成29年度特別会計補正予算の概要 P3
- 一般質問に13人が登壇「市政を問う」.....P4～P10
- 全国市議会議長会表彰P10
- 委員会活動P11～P13
- その他P14～P16

平成29年度 一般会計補正予算(第1号)

補正額：25億493万5千円の増額
予算総額 325億67万円



主な補正事業

小学校施設整備・改修事業



2億6,152万4千円

有家小学校校舎建築に伴う建物補償費及び
プロポーザル審査委員会報酬

指定文化財等保存整備事業



1,238万8千円

日野江城跡地の南側崖面の伐採費用

小・中学校就学援助事業



319万3千円

新入学児童・生徒学用品費の
改定などに伴う就学援助費

農業用施設等整備支援事業



310万円

有馬干拓地区農道アスファルト舗装工事費
用

一般会計の繰上償還

17億2,519万9千円

利率1.3%～1.6%の借入金の繰上償還を
行い、後年度の財政負担の軽減を図るため

簡易水道事業特別会計へ繰出金

5億3,804万6千円

簡易水道事業特別会計の繰上償還に要する
経費

平成29年度 特別会計補正予算(第1号)

補正額: 5億3,958万4千円の増額

可決

主な補正予算額の内容

| 特別会計事業名 | 補正予算額 | 予算総額 |
|---------|-------------|--------------|
| 簡易水道事業 | 5億3,804万6千円 | 22億5,336万8千円 |
| 後期高齢者医療 | 153万8千円 | 6億4,033万5千円 |

簡易水道事業 (補正第1号)

後年度負担の軽減を図るため、利率2.10%~2.15%の借入金
の繰上償還に伴う元金:

4億5,319万7千円

繰上償還に伴う補償金の追加と利子の減額:

8,613万3千円

人事異動に伴う、人件費の減額:

△379万3千円

消費税納付に伴う公課費の増額:

250万9千円

後期高齢者医療 (補正第1号)

広域連合の軽減判定所得の設定誤りによる
賦課誤り分の保険料還付金:

132万4千円

と、それに伴う還付加算金:

21万4千円

水道事業会計 (補正第1号)

人事異動に伴う人件費140万円の増額

給料: **132万7千円**

手当: **△32万4千円**

法定福利費: **39万7千円**



各種スポーツ大会がもたらす経済効果は

教育長／地域の活性化が図られているものと思っ
ている



吉岡 巖 議員

有家白崎バイパスの進捗状況について

議員 平成25年度に着工すると、当時の市長から説明されたが、今だ着工されていない。交通の緩和は非常に急がなければならぬと思うが、市長の考えを聞きたい。

市長 この道路計画に賛同される地域住民の皆様や、地権者の方々からなる道路建設委員会も計画をされ、6月13日、3回目となる意見交換会を開催したところである。この事業に着手していくためには、地域の皆様の総

意と地権者の同意が必要であるので、引き続き地域の皆様と協議を進めてまいりたいと考えている。

スポーツ大会がもたらす経済効果について

議員 市長、教育長にもソフトボール大会の県大会、九州大会に歓迎の挨拶をいただいております。大会の経済効果はご存知かと思う。どれくらい評価をしているか行政当局に聞きたい。また、体育協会の年間活動費の配分基準について聞きたい。

議員 合併当時から常任理事会で、体育協会の予算650万円の配分が行われているが、その点について聞きたい。

教育長 ソフトボール協会においては、日頃からソフトボールの県大会を本市に数多く誘致いただいていることに、この場を借りて、感謝申し上げます。ソフトボール大会を通じて、スポーツ交流人口の拡大が図られているものと確信している。スポーツ大会がもたら

す経済効果については、先ほどの県大会など、大きな大会が南島原市で開催されることで地域の活性化が図られているものと思っております。

議員 体育協会年間活動費の配分基準については、過去の常任理事会で何回となく審議された経緯があり、現状のままになっており、市体育協会も合併して12年になるので、配分基準の見直し案を体育協会に提案し、検討を重ねていただくよう考えている。



ソフトボール大会

市長・市議会議員の同時選挙は可能か

選挙管理委員会委員長／同時選挙の方向で検討している



松永 忠次 議員

施政方針について

議員 庁舎配置計画・庁舎建設について、どのような経緯で変更したのか。

市長 庁舎再編整備事業の方向性を検討している最中の、昨年4月熊本地震が発生し、有家庁舎の壁にひびが入るなど、早急に耐震対策を講じなければならぬ状況が生じた。

議員 職員・住民の安全対策は、人命が第一だが庁舎配置は今後どうなるのか。

市長 組織機構の見直し

を含め、検討しなければならぬと考えている。

議員 合併前の協定書を重んじるのか。

市長 「有家町区域内に新しい本庁舎を建設し、事務所を置く」とされており、尊重しなければならぬと考えている。

議員 とにかく煮詰めて前進あるのみで、後退しないでほしい。

南島原市まち・ひと・しごと創生総合戦略のグローバル教育について

議員 今回本市に導入された、EATとALTの違いは。

教育長 ALTは、国の外国青年招致事業によって任用された者で、大卒であるが、教員免許状を所持する条件はないが、今回のEATは、大卒で英語教員免許を所持し、現職の英語教員をマニラ市でしていた方である。

議員 配置は。

教育長 小学校を中心に口之津から有家、布津ぐらいを考えている。

議員 予算は。報酬として20

万円予算化している。

同時選挙について

議員 市長、市議会議員の選挙を同時にできるのか。

選挙管理委員会委員長 公職選挙法第34条の2に、市議会議員の任期満了の日が、市長の任期満了の前日90日までの場合、選挙期日の特例として、選挙を同時に行うことができる。

議員 同時選挙の行える期間は。

選挙管理委員会委員長 具体的には平成30年5月30日から、7月2日までの間に同時選挙が可能である。

議員 同時選挙で実施していくのか。

選挙管理委員会委員長 同時選挙の方向で検討している。



公共施設等総合管理計画を策定して感想は

市長／統廃合などを含め、市民の理解をどう得るかが一番の問題だ



吉田幸一郎 議員

行政改革について

議員 公共施設等総合管理計画策定による、現状での課題と今後の方向性は。

市長 全国の自治体の平均と比べて、約2倍の施設を有している。今後は維持管理の増大と膨大な建て替え費用が必要になる。その為、老朽化が著しい建物や、利用が極端に少ない施設などは、統合や廃止を含めて検討を進め、それぞれの施設について、建て替えや統廃合を含んだ個別計画を策

定する。この計画の実施については、いかに住民サービスの低下を抑え、利用される市民の理解を得ながら進められるかが大きな課題となる。しかしながら、本市の将来の予測人口や、財政状況を踏まえると、一部の施設の統廃合は避けられない状況にあり、進めていかなければならない。

農林水産業について

議員 土地改良事業は、大変重要な事業である。しかしながら、昨今、豪雨による氾濫が非常に心配されている。諏訪土地改良による、流末処理の要望はどうなっているのか。

農林水産部長 昨年の6月の時点では、完成していなかったが、現在では8カ所の調整池を整備し1カ所は、4千トン級の調整池を整備した。県と協議しながら被害がないように、いろんな対策を講じていく。

建設部長 上市場地区については、平成26年に国



上市場自治会市道側溝集水ますの現況

道より下の水路の断面を70cmの直径を1mの水路に改修をした。国道より上のほうの市道の側溝、集水ますの改修を現在発注している。下市場区域については、水路の壁のかさ上げを、平成22年〜28年にかけて関係者と協議しながら、部分的なかさ上げを行ってきた。今後も、かさ上げの要望を受けた下流域の船川地区については、旧町時代に改修済みの水路であり、その辺は、地元と色々な調整をして、対応をしていかなければならないと考えている。この前の地元関係者との協議ではできれば抜本的な改修との要望があった。

就学援助制度の法的根拠は

教育長 / 憲法・教育基本法・学校教育法である



桑原幸治 議員

就学援助制度について

議員 憲法その他の法的根拠は。

教育長 日本国憲法第26条第2項では、「義務教育は、無償とする」と規定している。これを受けて教育基本法にも規定がある。学校教育法第19条では、経済的理由によって就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対しては、市町村は、必要な援助を与えなければならないと定められている。

議員 援助対象となる、「所得のめやす」を大幅に引き上げたのは。

教育次長 平成28年4月から、生活保護認定基準が1.2ポイントから1.3ポイントへ拡大した。これに伴い「めやす」を引き上げた。

議員 「めやす」が給与所得者は収入、事業所得者は所得というのでは、給与所得者が明らかに不利である。所得で統一すべき。

教育次長 協議を重ね、平成29年度から、給与所得者も所得額に統一した。

議員 この件で保護者に対し訂正の「お知らせ」を配布すべきではないか。

教育次長 今月中に保護者へ配布したい。

議員 新入学児童・生徒に対する入学準備金の支給と支給時期については改善されたか。

教育次長 新入学学用品費については、平成29年度の入学者分から、2月中に支給した。また、金額面でも、国の要保護世

帯への援助額が約2倍に引き上げられた。要保護世帯についても、予算成立後は速やかに差額を支給する。

議員 就学援助申請書は全世帯に配布すべきではないか。

議員 教育委員会の努力を評価する。

教育長 今後も子育て世代をしっかりと支援していく。

※他に、ヒバクシャ国際署名、9条改憲問題、国保運営の県への移管などについても質問した。

就学援助の対象となる所得のめやす*南島原市大幅引き上げ

| 世帯人数 | 2人 | 3人 | 4人 | 5人 | 6人 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 平成29年度 | 215万円 | 284万円 | 335万円 | 380万円 | 407万円 |
| 平成28年度 | 185万円 | 221万円 | 259万円 | 308万円 | 354万円 |

準要保護児童生徒援助費 (南島原市)

| 区分 | 年度 | 小学校 | 中学校 |
|----------------|--------|---------|---------|
| 新入学児童・生徒の学用品費等 | 平成29年度 | 40,600円 | 47,400円 |
| | 平成28年度 | 19,900円 | 22,900円 |

**高齢者・障害者交通費
利用限度額を500円
から1,000円へ引き
上げて欲しい**

市長／利用限度額の見直し
について検討を行う



小林 知 誠 議員

**高齢者・障害者交通
費助成金について**

議員 これまでは1回につき、最高500円までしか利用できなかった利用券を、1,000円まで利用できるようにとの要望がある。検討を願いたい。

市長 これまでも利用者の方々から、500円の利用限度額を上げて欲しいとの声を聞いている。利用限度額の見直しについては検討を行う。

福祉医療について

議員 乳幼児医療費は、平成23年度から現物給付制度になり、保護者から喜ばれている。病院での窓口払いを完全無料にすると、どれだけの財源が必要か。また、窓口払いを400円にすると、どれだけの財源が必要か。

福祉保健部長 乳幼児医療費の自己負担を撤廃し、完全無料にした場合、2,000万円。自己負担額を400円にした場合、1,000万円の財源が必要になる。

議員 2,000万円の財源があると完全無料化ができる。子育てがやりやすい南島原市にするため、県下に先駆けて完全無料化しようではないか。

市長 諸々の状況から、いきなり無料化は難しい。

議員 県下の状況はどうか。

福祉保健部長 長崎県下では、新上五島町のみが無料という形である。システムとしては、800円を窓口で支払い、後日償

還払いという形で精算をしている。

議員 新しい制度を導入するときは勇気がいる。前向きに検討するに値すると考えるが。

教育勅語について

この質問については討論が噛み合わず、9月議会で再度質問することにした。



教育勅語

**雇用を第一
優先に考えるべき**

市長／就労の場の拡大は
当然である



隈 部 和 久 議員

**少子化対策(雇用)
について**

議員 日本トータルテレマーケティング(株)(NTM社)の職員拡充案件で前々議会から続けて質問してきたが、拡充予定であった人員を、NTM社の他の支社で補充されているのか。

企画振興部長 本市で人員を拡充して行う予定の業務については、他所既に人材確保して行われている。

議員 合併後12年目を迎え、本市独自の条例・規

則の中で、変えるべきものや、見直さなければ今後に支障となるものがあると思うが、検討はなされているのか。

市長 社会状況の変化にに応じて、見直すべきものは適切に対応していく必要があると考えている。

議員 是非、スピード感を持って検討し、改善していただきたい。

議員 有家町堂崎地区の海岸埋め立て地について完成後の活用を市として現在どのように考えているのか。また県と協議した事はあるのか。

市長 まず現在の進捗状況として、平成28年度末で、約78%の搬入土量で埋め立てられており、竣工予定は、平成32年7月となっている。しかし、公共工事残土の受け入れ地という名目である為、その量によって左右されるので、期間の延長もあり得る。完成後の活用については、内部の検討委員会を立ち上げ議論して

いく。県からは状況等について説明は受けており振興局との協議も行っている。

議員 あの広大な場所は本市の未来への大きな希望であると思う。いくら有能な人材を育てても、それを活かす就労の場がなければ地元に残れない。あの土地の活用について私も幾つかの案はあるが行政や議会関係者だけでなく、南島原市全体で真剣に考え、議論し、そして結論が出たなら、何としても達成する為、一丸となって邁進すべきである。



堂 崎 埋 め 立 て 地

今回の交通事故をふまえ再発防止の取り組みは

市長／綱紀肅正の徹底を図る



田中次廣 議員

職員の綱紀肅正について

議員 今回の酒気帯び運転による交通事故をふまえ、再発防止の取り組みは。

市長 全職員に対し、厳しく訓示を行った。二度と起こらないよう、機会を捉えて綱紀肅正の徹底を図っていく。

議員 管理監督者である職員（総務部長、総務課長）については、処分を行ったとのことだが、市長自らはどのように対処されるのか。

南島原市創生特別枠・地方版総合戦略について

市長 今議会中にしかるべき責任の取り方を考えている。（議会最終日に、市長の給与を10%1カ月分減給する条例改正が可決された）

議員 創生特別枠として37事業、事業費として14億2千万円の予算が計上してあるが、この中で特に重点的に取り組む事業は。

市長 基幹産業である農水産業、製麺業の所得向上につながる事業、人口流出を食い止める事業、交流人口拡大による地域活性化につながる事業などを計上している。

議員 総合戦略について国は先駆性で実行性のある自治体に交付金で後押しすることだが、南島原市で実施するとして、どのような事業が想定されるか。

企画振興部長 先駆性については、職員で知恵を出して考えているが、国

から認められない部分がある。29年度からは、採択基準が厳格になり、所得の向上に合致しない事業などは採択されない部分もあった。

学校における、いじめについて

議員 市内の学校で何件のいじめがあっているのか。

教育長 いじめに関する調査は、各小・中学校で2回から3回実施している。27年度は小学校で6件、中学校で9件で、全て解決済みである。28年度は小学校で4件、中学校で3件で、全て解決済みだが、継続して観察している。

議員 いじめの根絶に、更に努めて欲しい。またいじめや子供の悩みなど確認できたら子供に寄りそい、子供の視点にたった対応を願いたい。



幹線道路網の整備は本市にとって喫緊の課題

市長／しっかりと取組んでまいりたい



柴田恭成 議員

幹線道路網の整備・促進について

議員 県・国等への要望活動、取り組み状況について伺う。

市長 期成会を通じて、県や国、県選出の国会議員に、幹線道路網の整備促進、道路財源の確保などの要望をしている。

議員 本市は、半島三市の中で、交通の便が一番悪い状況であり、特に小浜・愛野間は国道57号が災害等で遮断された場合迂回路もないような状況。小浜・愛野バイパス整備は喫緊の課題。市民や雲

仙市と一体となって県等へ強く要望すべき。

市長 愛野・小浜間での主となる幹線道路は国道57号線のみで、土砂災害等による交通の遮断があった場合、市民の大きな不安材料となっており、本市にとって大変重要な道路だと認識しており、雲仙市はもとより両市の議会、市民の皆さん、各種団体とも連携をとって引き続き、実現に向けて取り組んでまいりたい。

副市長 雲仙市と署名をどうやっていくか、具体的な話をしながら進めているところである。

議員 愛野・小浜バイパスは、多額になる事業費の問題など課題もあり、計画が進んだ場合、事業費は本市も幾らか負担することも必要だと思うが、南島原市のありようというものも、しっかりと考えていかねばならないと思っている。

有馬川の可動堰について

議員 可動堰の修理等については県に強く要望す

べきだと言っていたが、その後の進捗状況は。

市長 県との協議が進展し、調査経費の予算化を検討していただいている。

議員 有馬川には土砂等が堆積し、また可動堰が埋まる可能性があると思う。現状を見て、どのように思われたか。

建設部長 川竹については、当然県がするべきだが、伐採はしたいと思っている。

議員 いつごろから伐採するのか。

建設部長 天気が落ち着いたら、早急にやりたいと思っている。

※この他、入札に於ける不落についても質問した。



有馬川（伐採後）

社会体育施設の 予約がどこでも 出来るように ならないか

市長／問題点もあるが
出来る方向で検討する



金子憲太郎 議員

**はじめ・体罰に
ついて**

議員 本市では、はじめや体罰について、どのような規定を設けているのか。

教育長 平成26年4月に南島原市いじめ防止基本方針を、同年11月には南島原市立小・中学校におけるハラスメント防止等に関する要綱を策定し、それぞれの問題に対応している。

今後、いじめやハラスメントを受けた児童生徒の側に立ち、子供たちの気持ちになって判断し



龍石海岸

議員 本市では、いじめや体罰について、どのような規定を設けているのか。

議員 最近、教師の長時間勤務が問題になっているが、本市での実態はどの様になっているか。また、その対応策は。

議員 前総務部長が12月議会、処遇改善については当然検討すべきと答弁したが、この間にどの様な検討がなされたのか。

議員 現在、人事課に支給方法、支給額など他市の状況を詳細に調べさせている。

議員 平成19年度に、県の龍石海岸護岸高潮対策事業で護岸を固める計画だったが、地元からそのまま残してほしいと要望があり、ジオパーク協会とも協議をした結果、ジオサイトはそのまま残し、北有馬側にスロープ有家側に階段を設置した。

議員 龍石海岸の浸食が進み、崩壊が起きているが、どのような対策を行っているのか。

議員 龍石海岸の浸食が進み、崩壊が起きているが、どのような対策を行っているのか。

い取り組みにしていく。

議員 前総務部長が12月議会、処遇改善については当然検討すべきと答弁したが、この間にどの様な検討がなされたのか。

議員 現在、人事課に支給方法、支給額など他市の状況を詳細に調べさせている。

議員 最近、教師の長時間勤務が問題になっているが、本市での実態はどの様になっているか。また、その対応策は。

議員 前総務部長が12月議会、処遇改善については当然検討すべきと答弁したが、この間にどの様な検討がなされたのか。

議員 現在、人事課に支給方法、支給額など他市の状況を詳細に調べさせている。

議員 龍石海岸の浸食が進み、崩壊が起きているが、どのような対策を行っているのか。

議員 龍石海岸の浸食が進み、崩壊が起きているが、どのような対策を行っているのか。

議員 龍石海岸の浸食が進み、崩壊が起きているが、どのような対策を行っているのか。

議員 龍石海岸の浸食が進み、崩壊が起きているが、どのような対策を行っているのか。

議員 龍石海岸の浸食が進み、崩壊が起きているが、どのような対策を行っているのか。

文化財 保護管理

教育長／市民と一緒に



山本 芳文 議員

文化財について

議員 埋蔵文化財は、土に埋もれているので、地主も包蔵地と知らない人が多い。地主に対する周知の方法は、どのようにやっているのか。

議員 地主が知らない。昨年は建設確認でわかった。

議員 文化財保護行政の基本的な業務として、市民に周知していく。

議員 与茂作川は、市の文化財から除外されているが理由は。

議員 現在、コンクリート護岸になって、従来の状態が大きく改変されているため。

議員 島原・天草の乱で生き残った「絵師の山田与茂作が絵を描く際に使用した」と地域に伝えている井泉である。供養塔と一対である。昭和50年代、農道拡張時に人間が壊した。溝を狭くして底を上げたため、雨水・排水が井泉に入るようになった。今では、観光者も訪れるようになってきた。道路下に排水トンネルで迂回する事を要望する。

議員 南島原市には、キリシタン墓碑が112基、現存していると思う。地区住民に、草刈りでの景観維持の協力をお願いする考えはないか。地域と共に「次世代へおくる」との趣旨である。

議員 市民と一緒に協力しながらやっていきたい。

議員 市と一緒の協



市の文化財から除外された与茂作川



市の文化財から除外された与茂作川の看板

廃船の援助が 全然機能して いない

市長／漁業者に対しチラシ
などで周知・啓発に努める



井上末喜 議員

ごみ問題について

議員 ぐみステーション

の前開きを考えては。高齢者には、重くて上から入れるのは大変らしいという事をよく聞いているが。

市民生活部長 ぐみステーションの多くが道路に

面しているの、何かの原因で前方に開いて事故など懸念されるおそれがあり、重い金蓋を軽量素材の物に取り換えるか、利用者や設置場所に応じた、軽い折り畳み式に換えるなど検討していきたい。

鳥鉄跡地について

議員 旧原城駅の公衆道

は、鳥鉄の所有なのか。車が入れないように看板が置いてあるが適法なのか。

市長 鳥鉄所有の民有地

であり、公道でもない。

議員 赤の大きな字で書いてあるが、あれを少し威圧感がない黒字に変えられないのか。

企画振興部長 民間の土地

なので。ただ、言われた事は当然お伝えする。

議員 譲渡の進捗状況は

企画振興部長 今年度の3月末を目標に進めている。

議員 かなり日数も経っているの、3月を切る

事がないように願いたい。

職員の配置について

議員 土木の技術屋の職員

が減員になったと聞いたが本当なのか。

市長 建設部の1名を減

員しており、これは鳥原振興局建設部河港課に派遣している。必要に応じて採用を行いたい。

議員 残業が多くなり、

事故が起きない内に、早く技術屋を採用してほしい。

市長 引き続き、職員が

適正な環境で働けるよう努める。

廃船の有り方について

議員 廃船をすると市

から援助があると聞いたが全然機能していないと思うが、廃船時の説明を怠っているのではないか。

市長 市では、FRP漁

船廃船処理対策協議会を設立し、FRP漁船処理費用について5万円を上限に、廃船処理費用の3分の1を助成している。

この事業については、

各漁協を対象として毎年開催し説明しているが、漁業者に対する周知につ

いては不足している面があったようで、今後チラシなどを活用して周知・啓発に努める。



FRP 船

来年度の市長及び議員の選挙日はいつか

選挙管理委員会委員長 / 9月に委員会を開催して決定する予定 (同時選挙)



高木和恵 議員

自治会長・納税組合長の合同会議について

議員 私は西有家から加

津佐までの会議に参加した。それは、市長が前回の一般質問の中で、答弁されていた事を、自分で確認する為。そもそも会議になっていないと感じた。4日間とも職員からの説明のようで、新会長・組合長の方々の会議と言えない。自治会活動補助金が今年から交付金に変更、市長が認める額は

いくらかとの質問に対しては、「現段階ではわかりません」と答弁。(信じら

れない) 来年度は、有家のコレジヨホールで全員一緒に説明を聞き、質問・答弁は皆さんで共有する機会にと思うがどうか。出席者の人数は。

企画振興部長 ありがたい提案をありがとうございます。しかし利便性を考えると、どうかと思うが検討します。出席者数は382名、全体の9割です。

議員 出席者のほとんどの方は、2つの役を兼務2つの報酬が支給してある。市長が決断すればいいと思う。ところで、この会議は秘密会ですか。そして納税組合は廃止してないですね、市長。

市長 秘密会ではない。

(自治会長の業務について 427人)

- ① 行政事務に関する各種伝達事項の周知徹底に関する事
- ② 広報その他印刷物の配布及び掲示に関する事
- ③ 各種調査、報告書の配布、とりまとめに関する事
- ④ そのほか連絡事務等で必要な事
報酬は、基準額 36,000円 + 2,000円 × 自治会加入戸数

(納税組合長の業務について 468人)

- ① 納税通知書、納付書の配布
- ② 納税の推進及び督促
- ③ 市税のとりまとめ及び納付
- ④ 納税組合組織の円滑な運営
納税組合長の報酬：基本額 8,000円 + 500円 × 納税組合の戸数

(自治会が対象となる補助金等)

- 協働のまちづくり自治会活動交付金
 - 交付の額 (平等割額に成績割額を加算)
 - ① 平等割は基本額 23,000円 + 自治会加入世帯数 × 市長が認める額 (1,500円)
 - ② 成績割は自治会加入世帯数 × 自治会の納税率 × 市長が認める額 (1,500円)
- ※ 当分の間、交付金の額については、前年度の補助金と比較して5,000円以上の増減の場合は、増減額の上限を5,000円とする。

平和都市宣言は

市長／平成18年7月に平和都市南島原宣言を行っている



中村久幸 議員

防災ラジオについて

議員 放送の入りにくい世帯の対策は。

総務部長 軒先へ外部アンテナを取りつけるなど進めている。

雑音など電波が入りにくい場合は、市役所の総務課防災交通班にご連絡いただきたい。

自治会活動補助金(交付金)の見直しについて

議員 平成29年度から、どのように見直しをされたのか。また、各自治会

への周知は。

企画振興部長

今までは、平等割、成績割の額に算定基準における階層区分を設けていた。世帯数の違いで金額が変わることや、納税率が90%未満の場合、成績割がゼロ円となるなど、世帯当たりの金額に大きな違いがある点等を踏まえて、大きく四つの改正を行った。

- 一、平等割と成績割の比率を4対6から、概ね5対5へ変更した。
- 二、平等割額の世帯数による階層区分を廃止し、新たに基本額と加入世帯数に世帯単価(1,500円)を乗じた額の合計額とした。
- 三、成績割額も階層区分を廃止し、自治会加入世帯数に自治会の納税率と世帯単価(1,500円)を乗じた額とした。
- 四、新制度により交付金額の増減額が、前年度を大きく上回ったり下回ったりする場合、±5,000円の緩和措置を設けた。以上のような部分を改正して、世帯当たりの支給額の格差の縮減を図

った。

自治会へは、自治会長会議の折、説明している。

平和祈念事業への取り組みについて

議員 どのような取り組みを行われているか。

市長 平成18年7月に、

平和都市南島原宣言を行うことで以降、核兵器の脅威を伝えるための施策、核実験を進める国へ抗議文の送付を行ってきた。

21年度から毎年7～8月中旬にかけて、市役所庁舎や公民館、図書館などで「ミニミニ原爆展」を開催しており、今後も引き続き実施する予定。



ミニミニ原爆展

全国市議会議長会表彰

5月24日、東京で開催された、第93回全国市議会議長会定期総会において、中村一三議長、草柳寛衛議員、吉岡巖議員、小嶋光明議員が議員として15年以上務めたことにより一般表彰を受賞しました。

なお、在職年数については、町議会議員の在職年数の2分の1が通算されています。



小嶋 光明 議員



吉岡 巖 議員



草柳 寛衛 議員



中村 一三 議長

総務委員長報告

(田中次廣委員長)

議案4件を原案可決、請願1件を取下許可、1件を採択、陳情1件を継続審査

【議案第74号】有家庭舎改修工事請負契約の締結について

【質疑】 入札参加10社のうち、9社が失格しているが、予定価格の間違ひではないのか。また、どのような改修を行うのか。

【答弁】 設計事務所で設計し、起工段階で部署内(1級建築士3名)で2回チェックを行ったので、積算は間違っていない。耐震工事、屋根の防水、外壁の落下防止、トイレ、浄化槽、電気設備の改修工事等を行う。

【議案第75号】財産の取得について(消防ポンプ自動車)

【質疑】 消防自動車の今後の更新予定は。

【答弁】 納車から20年以上経過したものから更新する。年に2台を予定している。

【議案第76号】平成29年度南島原市一般会計補正予算(第1号)

(総務部関係)

【質疑】 補償金として、4,890万円計上されているが、利子との違いは。

【答弁】 国からの借入金について、繰上償還して全部返済する制度ができた。その時に利子分を補償金として支払うことになっている。

【質疑】 集落支援員について

【答弁】 集落支援員は、旧津波見小学校の、地域おこし協力隊の退任に伴い採用する。

【質疑】 地域おこし協力隊の雇用期間は3年と思うが、途中で辞めると国からのペナルティーや返還金などあるのか。

【答弁】 雇用は、1年間で3年継続できる。途中で辞めても、ペナルティーや返還金はない。

【平成28年請願第4号】「有馬キリシタン遺産記念館」を以前の「原城文化センター」の利用目的に戻すこと及び「有馬キリシタン遺産記念館」の展示物を南有馬庁舎に展示することを求める請願

継続審査となっていたが、今回「取下願」が提出されたため、採決の結果、取下げを許可することに決定。

☆その他の付託案件

【議案第72号】南島原市有馬キリシタン遺産記念館資料収集検討委員会条例の一部を改正する条例について

【請願第2号】地方財政の充実・強化を求める意見書採択のお願い

【陳情第1号】南島原市交通安全協会の運営・活動費にかかる補助金の見直しを願う陳情

文教厚生委員長報告

(隈部和久委員長)

承認2件を承認、議案3件を原案可決、請願1件を採択

【承認第1号】専決処分の承認を求めることについて(南島原市税条例の一部を改正する条例について)

【質疑】 住宅関係等の軽減税率の延長に関し、もう少し分かりやすく説明を。

【答弁】 耐震改修は、改修した翌年度に限り、改修費が50万円以上、かつ面積が120㎡以下であれば、2分の1の軽減措置がある。バリアフリーの改修についても、1年限りで50万円上、かつ面積は100㎡以下ならば、3分の1が軽減。省エネ改修については、同様に50万円上、かつ面積が120㎡以下で、3分の1が軽減。また、長期優良住宅改修の場合、120㎡以下、2分の1の軽減。従来、新築住宅については3年間であったが、長期優良住宅の場合は5年

間の措置をとるという改正である。

【承認第2号】専決処分の承認を求めることについて(南島原市国民健康保険条例の一部を改正する条例について)

【質疑】 事業主体が県になった場合、現在、本市が行っている一般会計からの繰り入れはできるのか。

【答弁】 今は、禁止するということはないが、法定外というの、あまり望ましくないという回答であった。

【議案第73号】南島原市立幼稚園保育料等徴収条例の一部を改正する条例について

【質疑】 今回の改正に該当する対象者数と、その負担はいくらになるのか。

【答弁】 2名で、6,550円を3,000円に軽減する。

【議案第76号】平成29年度南島原市一般会計補正予算(第1号)

(教育委員会関係)

【質疑】 有家庭小学校の建て替えについて、また開校予定はいつになるのか。

【答弁】 設計について、都市計画課がプロポーザルを担当する。起工は秋口になる予定である。校舎の建物は、現有地を予定している。用地購入については、現在の場所周辺を考えている。また、プールは新設する。開校は、平成33年4月を予定している。

☆その他の付託案件

【議案第78号】平成29年度南島原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

【請願第3号】未来を担う子どもたちのために教育予算を拡充し、少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1の還元と制度堅持を求める意見書の採択要請についての請願

農林水産・建設委員長報告

(下田利春委員長)

議案3件を原案可決

【議案第76号】平成29年度南島原市一般会計補正予算(第1号)

〈水道部関係〉

繰出金5億3,804万6千円は、議案第77号の繰入金に伴うもの。人件費の減・消費税納付の公課費の増、及び企業会計への移行に向け、経常経費の縮減を図るため、簡易水道事業債の任意繰上償還金の増によるもの。

【議案第77号】平成29年度南島原市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

公債費の元金4億5,319万7千円は、利率2・10(2・15%)の財政融資資金借入金分の任意繰上償還を実施するもの。利子8,613万3千円の増は、任意繰上償還による補償金9,101万4千円の増と、償還金利子488万1千円の減。

質疑 繰上償還に伴う補償金があるが、繰上償還しない場合とどれくらい違うのか。

答弁 移行後の経営状況を計算したところ、繰上償還で年間約1億円の支出軽減が見込める。

質疑 一般会計から繰り入れて償還しているが、残が約50億ある。企業会計移行後は水道会計のほうでは大変と思うが、償還計画はどうなっているのか詳しく説明を。

答弁 簡水債35億、過疎債18億、辺地債4千万である。過疎債・辺地債は一般会計での借り入れであり、一般会計のほうで払ってもらおうよう財政課と協議を進めている。

質疑 35億は企業会計で償還していくようだが、償還計画は決まっているのか、まだ財政と話をしているのか。

答弁 合併した市では、人件費を補助金で、一般債を一般会計という状況もある。今後財政課と協議を進めていかなければと思っている。

質疑 ほかに収入がなく水道会計は厳しいわけだが、受益者負担、水道料金の問題はどのように考えているのか。

答弁 料金問題は、議員からの提案を含め、超過料金・基本料金等もう一回見直すことも考えて来年度以降、料金改定に向けて協議を進める。

委員長 特に議案第77号で出された質疑、議論、提案事項については、真摯に受け止め、企業会計への移行後の運営がスムーズにできるよう最善の努力をして頂きたい。

【議案第79号】平成29年度南島原市水道事業会計補正予算(第1号)

4月の人事異動に伴う人件費140万円の増額の1件である。



文教厚生委員会視察研修報告

平成29年5月16日(火)～18日(木)

今回は、宮城県南三陸町を中心に、近隣の施設を合わせて視察した。

「秋保工芸の里」(仙台市)

本市の廃校活用事業として、旧白木野小を「アートビレッジ・シラクノ」として、芸術分野での利用計画が進められている。そこで、仙台市秋保町にあり、現在9名の工芸家があり、この里で暮らしながら制作活動を行っている当地を視察した。

「南三陸町役場及び再建した戸倉小学校、戸倉保育所、災害公営住宅、旧戸倉中学校を再整備した戸倉公民館」

町役場では、多忙にも関わらず、佐藤町長を始め、議長、教育長ほか、大勢の職員に出迎えていただき、恐縮すると共にいたく感激した。

現場に於ける防災教育・訓練に関しては、各々の地域の特性に合わせて多少、内容は異なるであろうが、その本質的なものは、本市のみならず、全国の学校現場で参考にすべきである。

今回の視察では、私たちの南島原市にも、参考になる取り組みもいくつかあったので、今後の本市の施策に活かせるよう提案、提言していきたい。

「さんさん館」(南三陸町)

閉校した小学校を活用し、14年前に、卒業生を中心に12名で組合を立ち上げ、地元食材を提供する宿泊施設及び、グリーン・ツーリズム体験の場として営業している。従業員の方が、成り立ちから現在までの紆余曲折を、丁寧に説明して下さい、非常に参考になった。

防災や発災時からの復興に関する説明については、未曾有の大災害であり、その被害の激甚さ、悲惨さ、また復興の方法や規模の大きさ等、本市に鑑みて参考にするといい類の話ではなく、傾聴するという感覚であった。ただ、学校



南三陸町 佐藤町長歓迎挨拶

より良い議会だより作り
のヒントを得るため、
平成29年5月29日～30日
にかけて鹿児島県始良市
と曾於市を訪れ、研修を
してきました。

始良市は、合併前の始
良町時代に議会広報コン
クール全国一位となつて
おり、市になってからだ
のように進化しているの
か研修させて頂いた。

議会改革基本条例に基
づいて、平成26年度より
広報公聴委員会を設置し、



始良市研修風景

また、出来るだけ議会
終了後30日で発行するこ
とにしているため、議員
活動に負担がかかっている
とのことだったが、研
修に伺った我々を広報班
全員で出迎えて頂いたり、
意見交換や質疑応答など
とても丁寧な対応で強い
熱意が感じられた。

課題としては、自治会
未加入者が増えてきてお
り、未読者が増える傾向
にあること、読者層が年
配者中心であるという悩
みを持つておられた。



「こんにちは議会だより」第47号表紙

曾於市は宮崎県の都城
市と接しており、地域振
興住宅事業など独自の事
業を行っていた。

議会広報誌は、だれが
見ても見やすい紙面づく
りを目標に、出来るだけ
解りやすい文章を心掛け
ているなど、目標は本市
と同じだったが、今年か
ら標題の「議会だより」を
「こんにちは議会だより」に
変更したり、一般質問の
欄に「ちよつと一言」を
入れるなどの試みや、地
域振興住宅事業で曾於市
に移住してこられた家族
の紹介をするなどの、新
しい試みがされており、
とても参考になった。



鹿児島県南九州市議会議員が 南島原市を視察されました

平成29年5月12日、鹿
児島県南九州市議会産業
建設常任委員会の方々が、
本市の「体験型観光の取
り組みについて」の研修
を行うため来庁されまし
た。

研修ではまず、南島原
市議会田中総務委員長の
歓迎の挨拶に引き続き、
南九州市議会満留産業建
設常任委員長から挨拶が
ありました。

その後、研修テーマで
ある体験型観光の取り組



研修の様子

みについて、主に体験型
観光の概要、受入家庭の
確保・拡大策、行政とし
ての支援、観光協会や他
団体との連携、今後の課
題などについて、担当課
職員が説明を行いました。
その後の質疑応答では、
今後の計画や体験型観光
が地域にもたらす効果、
農林漁業体験民泊の取り
組みで苦労したことにつ
いてなど様々な質問があ
り、活発な意見交換が行
われました。

平成29年 第2回定例会 議決結果報告

| 議案番号 | 件名 | 議決年月日 | 議決の結果 |
|----------------|---|------------|-------|
| 議案第71号 | 相互救済事業の委託について | 平成29年6月13日 | 原案可決 |
| 同意第1号 | 教育委員会委員の任命について | 平成29年6月13日 | 同意 |
| 報告第1号 | 専決処分の報告について (損害賠償の額の決定について) | 平成29年6月19日 | 受理 |
| 報告第2号 | 専決処分の報告について (損害賠償の額の決定について) | 平成29年6月19日 | 受理 |
| 報告第3号 | 専決処分の報告について (損害賠償の額の決定について) | 平成29年6月19日 | 受理 |
| 報告第4号 | 株式会社みずなし本陣の経営状況に関する書類の提出について | 平成29年6月19日 | 受理 |
| 報告第5号 | 平成28年度南島原市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について | 平成29年6月19日 | 受理 |
| 報告第6号 | 平成28年度南島原市簡易水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について | 平成29年6月19日 | 受理 |
| 報告第7号 | 平成28年度南島原市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について | 平成29年6月19日 | 受理 |
| 承認第1号 | 専決処分の承認を求めることについて (南島原市税条例の一部を改正する条例について) | 平成29年6月29日 | 承認 |
| 承認第2号 | 専決処分の承認を求めることについて (南島原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について) | 平成29年6月29日 | 承認 |
| 議案第72号 | 南島原市有馬キリシタン遺産記念館資料収集検討委員会条例の一部を改正する条例について | 平成29年6月29日 | 原案可決 |
| 議案第73号 | 南島原市立幼稚園保育料等徴収条例の一部を改正する条例について | 平成29年6月29日 | 原案可決 |
| 議案第74号 | 有家庁舎改修工事請負契約の締結について | 平成29年6月29日 | 原案可決 |
| 議案第75号 | 財産の取得について (消防ポンプ自動車) | 平成29年6月29日 | 原案可決 |
| 議案第76号 | 平成29年度南島原市一般会計補正予算 (第1号) | 平成29年6月29日 | 原案可決 |
| 議案第77号 | 平成29年度南島原市簡易水道事業特別会計補正予算 (第1号) | 平成29年6月29日 | 原案可決 |
| 議案第78号 | 平成29年度南島原市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第1号) | 平成29年6月29日 | 原案可決 |
| 議案第79号 | 平成29年度南島原市水道事業会計補正予算 (第1号) | 平成29年6月29日 | 原案可決 |
| 議案第80号 | 南島原市長及び副市長の給与に関する条例の一部を改正する条例について | 平成29年6月29日 | 原案可決 |
| 平成28年 請願第4号 | 「有馬キリシタン遺産記念館」を以前の「原城文化センター」の利用目的に戻すこと及び「有馬キリシタン遺産記念館」の展示物を南有馬庁舎に展示することを求める請願 | 平成29年6月29日 | 取下許可 |
| 請願第2号 | 地方財政の充実・強化を求める意見書採択のお願い | 平成29年6月29日 | 採択 |
| 請願第3号 | 未来を担う子どもたちのために教育予算を拡充し、少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1の復元と制度堅持を求める意見書の採択要請についての請願 | 平成29年6月29日 | 採択 |
| 発議第4号 | 「地方財政の充実・強化を求める意見書」の提出について | 平成29年6月29日 | 原案可決 |
| 発議第5号 | 「未来を担う子どもたちのために教育予算を拡充し、少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1の復元と制度堅持を求める意見書」の提出について | 平成29年6月29日 | 原案可決 |
| | 議員派遣について | 平成29年6月29日 | 決定 |
| | 閉会中における各委員会の継続審査・調査申し出について | 平成29年6月29日 | 決定 |

平成29年 第2回定例会で意見が分かれた議案の採決

| 議席番号 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
|--------|------|-------|------|------|------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|
| 議案番号 | 田中次廣 | 金子憲太郎 | 小林知誠 | 柴田恭成 | 高木和恵 | 吉田幸一郎 | 隈部和久 | 林田久富 | 小嶋光明 | 黒岩英雄 | 井上末喜 | 中村久幸 | 下田利春 | 川田典秀 | 隈部政博 | 吉岡巖 | 山本芳文 | 草柳寛衛 | 桑原幸治 | 松永忠次 |
| 議案第74号 | 原案可決 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |

※○：賛成、×：反対、－：除斥

賛成 この工事については、制限付一般競争入札であり、ランダム化による予定価格入札が行われており、適正な入札結果であると思う。また、これまでこのような入札が受けるということもなかったというので、何ら変な憶測を呼ぶような入札結果ではないと思う。



採決が分かれた議案の主な意見を紹介します。

反対 本入札は、10社中9社が市の設定した予定価格はおろか、その約90%にあたる最低制限価格にも達せず、全てが失格している。あまりにも異常な入札結果であり、市の予定価格が高すぎたか、業者側に何らかの意図があったのではないかと疑わざるをえない。また、落札した会社の代表取締役は、南島原市議会議員と二親等以内の関係にあり、地方自治法の趣旨や住民に疑惑の念を生じさせるという点からも好ましくないと考ええる。

【議案第74号】有家庁舎改修工事請負契約の締結について

▼点線に沿ってお切りください。

議会だよりに対する皆様のご意見をお聞かせください

会派名簿

会派の異動がありましたので、お知らせします。

(平成29年4月1日)

| 会派の名称 | 代表者名 | 所属議員数 | 所属議員氏名 |
|--------------------------------------|-------|-------|--------|
| 明政クラブ (メイセイクラブ) | 金子憲太郎 | 4人 | 金子憲太郎 |
| | | | 中村 一三 |
| | | | 井上 末喜 |
| | | | 柴田 恭成 |
| 南 創 会 (ナンソウカイ) | 吉田幸一郎 | 3人 | 吉田幸一郎 |
| | | | 隈部 政博 |
| | | | 川田 典秀 |
| 政 研 会 (セイケンカイ) | 黒岩 英雄 | 2人 | 黒岩 英雄 |
| | | | 小嶋 光明 |
| 改 革 (カイカク) | 林田 久富 | 2人 | 林田 久富 |
| | | | 吉岡 巖 |
| 日本共産党南島原市議団 (ニホンキョウサントウナシマハランギダン) | 小林 知誠 | 2人 | 小林 知誠 |
| | | | 桑原 幸治 |
| 経 世 会 (ケイセイカイ) | 松永 忠次 | 2人 | 松永 忠次 |
| | | | 草柳 寛衛 |
| ふるさとクラブ (フルサトクラブ) | 田中 次廣 | 1人 | 田中 次廣 |
| 南風クラブ (ナンプウクラブ) | 山本 芳文 | 1人 | 山本 芳文 |
| 公 明 党 (コウメイトウ) | 中村 久幸 | 1人 | 中村 久幸 |
| 向 日 葵 (ヒマワリ) | 隈部 和久 | 1人 | 隈部 和久 |
| 偏 西 風 (ヘンセイフウ) | 高木 和恵 | 1人 | 高木 和恵 |
| 民政クラブ (ミンセイクラブ) | 下田 利春 | 1人 | 下田 利春 |

編集後記

6月議会が閉会し、議会だよりの編集の時期に、本市に台風3号が上陸しました。私の経験では、初めてではなかったかと思えます。更には、九州北部豪雨災害が発生しました。被災された皆さまには心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

また、議会だよりが、発行される頃には台風シーズンになります。やはり災害などの被害を最小限に抑えるには、自助・共助・公助それぞれが役割を果たしていくことが大切です。

①「自助」とは、自分の身を自分の努力によって守ることです。

②「共助」とは、身近



な人たちがお互いに助け合うことです。

③「公助」とは、国や県、市などの行政機関による救助・援助です。このうち、「公助」のみの災害対策には限界があり、平成7年の阪神・淡路大震災の教訓から「自助」「共助」が極めて重要とされています。

『災害に強い南島原市へ向けて』市民・行政・議会で、屈強なスクラムを組み前進しましょう。

議会広報編集特別委員
吉田 幸一郎

議会だよりに対する皆さまのご意見をお聞かせください。下記はがきを切り取ってお使いください。



近藤孝信氏 (北有馬町)

教育委員会委員
(平成29年6月19日)
平成33年6月18日

人事案件

郵便はがき

料金受取人払

島原局
承認
35

8 5 5 8 7 9 0

差出有効期間
平成30年3月
31日まで
(切手不要)

(受取人)

長崎県南島原市有家町山川58番地

南島原市議会事務局 行



議会を傍聴
しましょう!!
次回の定例会は9月
12日開会の予定です。

南島原市議会は市民の皆様のお越しをお待ちしています。詳しくは議会事務局へお尋ねください。
電話 0957・73・6611

▶点線に沿ってお切りください。



【発行責任者】
議長 中村 一三